

プロジェクト名	まちなかガイドプロジェクト会議	
設置日	平成25年7月31日	
目的	<p>中心市街地にある、歴史・文化・人・店・まちなみなどの地域資源をガイドツアー形式で案内し、まちなかへの回遊を促すとともに魅力を発信するため、ガイドツアーの運営の仕組みを構築し事業化へと繋げる。また同時に、ガイドの効果をも高めるため、地域における調整とともに来訪者に対するおもてなしの心や意識の醸成を図っていく。</p>	
活動内容 (予定含む)	<p>①ガイドツアー運営の仕組みの構築 (他都市の情報収集、視察・講演等による研究、事務局機能及びガイド養成手法の構築、(仮称)大津まちなか大学ガイド学部の開講準備) ②(仮称)大津まちなか大学ガイド学部の開催 ③地域団体等との情報ネットワークの構築</p>	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<p><input checked="" type="checkbox"/> (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり</p> <p>【該当事業又は関連事業】まちなかガイド事業</p>	
人数	7	
リーダー	福井 美知子	大津まちなか食と灯りの祭実行委員会
サブリーダー	田中 眞一	公益社団法人びわ湖大津観光協会
プロジェクト委員	市山 幸男	大津商工会議所
	木津 勝	大津市歴史博物館 学芸員
	渡邊 光悦	NPO法人 大津祭曳山連盟 副理事長
	松井 佐彦	おやじのたまり場
	村山里恵	(株)まちづくり大津
	雨森 鼎	大津の町家を考える会
	小倉 康寛	菱屋町商店街 八百与
	中溝 絵里奈	大津プリンスホテル
適用・特記事項	<p>・HP事業(まちづくり大津)との連動</p>	

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	まちなかガイドプロジェクト会議	
年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 (実績)	①ガイドツアー運営の仕組みの構築に向けた準備 ・他都市の情報収集 （OSAKA旅めがね、まいまい京都、熊本観光コンベンション協会、熊本観光ボランティア協会、NPO北九州タウンツーリズム、神戸おとな旅等） ・講師招聘による勉強会の開催 （まいまい京都 以倉氏） ②ガイドツアー運営方策の検討 ・ガイドツアー運営方策検討業務委託	実績額：609,120円 内訳： ①勉強会開催（謝礼、交通費） 21,120円 ②ガイド運営方策検討業務委託 588,000円
平成26年度 (予定)	①ガイドツアー運営の仕組みを構築 ・ツアー実施にあたっての各種機能（事務局（受付・広報）、ガイド（コース策定、実施）、ガイド養成）の構築に向けた検討 ・（仮称）大津まちなかガイド学部の開催に向けた準備（カリキュラムの作成） ②活動団体等とのネットワークの構築 ・ワークショップ、講師招聘による勉強会の呼びかけ ・まちなか大学ガイド学部の受講の呼びかけ ・ツアーへの参加の呼びかけ	予算額：400,000円 内訳： ①ガイド運営方策構築委託費 300,000円 ②ワークショップ開催費 100,000円
平成27年度 (予定)	①（仮称）大津まちなか大学ガイド学部（第1期）の開催 ②活動団体等とのネットワークの強化 ・ツアーコース策定にあたっての地域との調整・橋渡し（ワークショップ等） ・講座、ツアーの呼びかけ ・まちなか大学受講の呼びかけ	予算額：450,000円 内訳： ①まちなか大学運営費 400,000円 ②ワークショップ開催費 50,000円
平成28年度 (予定)	①（仮称）大津まちなか大学ガイド学部（第2期）の開催 ②ガイド学部（第1期）によるプレガイドツアーの実施 ③②活動団体等とのネットワークの強化 ・ツアーコース策定にあたっての地域との調整・橋渡し（ワークショップ等） ・講座、ツアーの呼びかけ ・まちなか大学受講の呼びかけ	予算額：450,000円 内訳： ①まちなか大学運営費 300,000円 ②ツアー実施関係費 100,000円 ③ワークショップ開催費 50,000円
平成29年度 (予定)		

大津まちなかガイドプロジェクト会議 中間報告【2014.12.22協議会議資料】

★まちなかガイドプロジェクト事前打ち合わせ

平成26年5月7日(水)

場所：旧大津公会堂「座」

出席者：6名

○新年度委員の確定、大津市観光振興課との連携の可能性など

★第5回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年度5月21日(水)開催

場所：都市再生課(結)

出席者：12名

○取り組み内容とスケジュール、フォーラムの開催について協議

★第6回まちなかガイドプロジェクト会議

平成26年6月13日(水)開催

場所：都市再生課(結)

参加者：8名

○ワークショップとフォーラムについて

★第7回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成16年7月1日

場所：国際交流サロン

参加者：8名

★第8回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年7月24日(木)開催

場所：国際交流サロン

参加者：

★大津まちなか・ガイドフォーラム

平成26年7月27日(日)

場所：旧大津公会堂3階ホール

講師：オダギリサトシ氏、中川学氏

参加者：約40名

★まちなかガイドプロジェクト ツアー(第1)、ガイド学部(第2)部会

平成26年8月6日

場所：旧大津公会堂「座」

★まちなかガイドプロジェクト 広報(第3部会)会議

平成26年8月7日

場所：旧大津公会堂「座」

参加者：7名

○広報、販売方法、マニュアルの作成

★まちなかガイドプロジェクトスタッフ会議

平成26年8月

場所：まちづくり大津「座」

参加者：5名

○母倉修氏へのコンサルティング業務依頼、トライアルツアー実施（2,3月）について

★第9回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年8月28日（木）開催

場所：大津中央支所2階会議室

参加者：6名

○分科会活動報告とツアーコース提案の依頼

★第10回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年9月26日（金）

場所：国際親善協会

参加者：11名

○各委員からのツアーコース提案

★まちなかガイドプロジェクト ツアー（第1部会）会議

平成26年10月22日（水）

場所：旧大津公会堂

参加者：7名

○ツアーコースのブラッシュアップ …7コースに絞る

★第11回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年11月12日（水）開催

場所：旧大津公会堂多目的室

参加者：7名

★まちなかガイドプロジェクト 先進地視察

平成26年11月20日（木）

場所：大阪富田林寺内町

参加者3名 +母倉氏

★第12回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年12月11日（金）

場所：旧大津公会堂多目的室

参加者：9名+千葉氏（インブリージョン観光まちづくり事業部プロデューサー）

★第13回まちなかガイドプロジェクト全体会議

平成26年12月19日（金）開催

まちなかガイドフォーラム



2014年7月27日
旧大津公会堂3階ホール



まちなかガイドフォーラム(記録)

2014年7月27日
旧大津公会堂3階ホール

★挨拶・資料確認

まちなかガイドPJとは簡単な事業説明(資料参照)

★13:40~14:20

「まちあるき7選プラス」事業実施から見た大津の魅力発掘

講師：中川学氏(元まちづくり大津まちなかガイドコース発掘担当)

・中川氏紹介

募集にあたり、魅力を広げる目的であればターゲットは女性。

口コミでの集客力が見込める。

・実施した各ガイドコース紹介

まちあるきはウォーキングではない。

半観光であって正統な観光ではない。

大津の特色、歴史的にいろんな役割が従交している中心

・今昔の建物、町名由来などの紹介(酒屋、堀)

・110名参加。予想以上に60.70代の人が多く参加していた。

・ばらばらに来て一緒にまわる、特に女性は仲良くなっていく

=ひとつのコミュニケーションモデルとして考えている。

★14:20~15:00

「“非日常”ではない“異日常”のプログラム化について」

講師：小田切聡氏(2008年、(株)インプリージョンを設立し地域に根付いた観光企画づくりを行う)

・小田切氏紹介

着地型観光

・大阪に来る観光客は調べて来るというよりは従来の媒体のテレビ、新聞、ガイドブックなどで成型された大阪のイメージで来られる方が多い。多くの場合はイメージを見にくるが、それだけじゃない事を伝えたいがなかなか難しい。

・何もしないと何時までもイメージだけで何も変えることができない。

・着地方観光とは大阪という目的地(到着地点)から移動方を発信して、イメージでない情報の発信をする考え。着地方観光の趣向によるまちづくりという考えを持っている。

・ツアーだけでなく情報を発信するフリーペーパーを作成したり、地域を知ってもらうためのイベントを開催したり。しかしどうしてもアプローチの範囲がせまくなってしまう。インターネットにアップしてもその情報まで届いてもらえないのが現状。

・テレビ、ラジオ、新聞などの媒体に大阪からアプローチする。東京などに大阪主導で情報を発信する。

株インプリージョン設立の経緯

- ・地元を盛り上げる為に有志でフリーペーパーを作成・ネットでの情報発信
→時間・金額の問題→モチベーションの低下→地元サイドからの応援
→会社を辞め地域の為に続ける→ツアーがブレイクし始める→お客さんを送り込んでくれる所と知り合う→現在大阪全域をカバー

地域の魅力を知ってもらいたい。地元から情報を発信する。隠れた魅力を知ってもらいファンになってもらう。

けっこう継続できないガイドツアーが多い。

- ・参加者多いが供給側の問題で伝えきれない。定期的にやろうと思ったら定期的にやる組織づくりをすることが必要（人員・金額）。地域の為にとどんだけ頑張っても限界がある。思いだけではなく続けていける仕組みにしていく事が必要。

継続していくために何が必要か。

- ・やりたい事と売れることは違う。見せたい物と見たい物が違う。
見たい物の中に見せたい物を入れるようにする。やりたい事だけをやっていては人はきてくれない。認識し、バランスをうまく組んでいくことが重要。
どう思われているか解ってないと作る事はできない。
- ・近隣からのお客さんもいる。それに合わせてツアーを作る必要もある。

マーケティングミックス

- ・ツアーの内容が同じでもタイトルや写真を変えて見せ方を変えて表現する。
街を変える事は難しいので組み合わせ方を変えたり、プロモーションや価格を変える。
全然売れなかったツアーでもタイトルを変え旅行会社を変えただけで急激にうれたりする事もある。見せ方ひとつで変わってくる。ツアーの価値を感じるのかは見せ方しだい。

来てもらう為のツアーの内容と、来てもらった人が喜ぶようなツアーの内容をできる限り意識して別々に考えるようにしている。

ツアータイトルや写真はぱっと見行きたくなるものにする。それが体験できると満足するが、それプラスの違うコンテンツを上乗せする。それが大満足や大喜びになるよう演出する。

- ・ガイドスタッフの接し方ひとつで満足度は変わる。一緒にいた地域の人との交流も満足度は影響する（おもてなし）。参加者とお客さんとの交流が深まるほど影響する。
人を育てることが大切。
- ・トータルマネージメントができる人材育成
将来のビジョンを描いて今何をすべきかを考えられる人がいないとどうしてもそろわ

ない。それぞれの考えがあるのはあたりまえ。

★15:00～15:30 意見交換・交流タイム

質問：松井様(まちなかガイドP委員)

大阪で生まれ育ってきたが、メディアで実際ではあまり使わない違う大阪弁が使われている

見せたいものをどの程度みせるのか。どういうレベルで発信するのか。メディアで発信されているような実際は違うものをみせていくのか。

回答：小田切氏

イメージを完全に受け入れ、それだけだと満足されるかもしれないが、それをしたい訳じゃない。持っているであろうイメージを見せながら「そうじゃないですよ」というのを織り込んでいく。バランスを見ながら作っています。

(たとえば首都圏の人で団体で旅行の場合はイメージどおりを大目に、少し違う部分を見せる。個人で若い人の場合はイメージどおりを減らしたり。旅行会社や客層などで臨機応変に作っていく。)

初めてのお客さんに持っているイメージ以外だけみせても何のこっちゃで終わってしまう。少しでも違うところを知ってもらうようにここがけています。

質問：女性(一般)

インプリージョンさんの社員の年齢構成を教えてください。

媒体について旅行会社などと個人のお客さんが参加したい場合の受け入れもされていますか。

回答：小田切氏

正社員 20代 1人 30代 1人 40代 1人 60代 1人+私。

幅広いが年齢ではなくその人のスキルでえらんでいる。アルバイトは 20代～60代。

ガイドは元気な人もいれば、落ちついた案内をする人もいる。

基本的には旅行会社を通して販売している。インターネットやチラシは情報発信伝達能力、プロモーション能力に圧倒的に劣る。1回のツアーでそう儲からないのでバンバン広告をうつことはできない。

できるかぎり旅行会社さんの力を借りる。旅行会社のネタを探しているのでお客さんに提案してくれる。低コストで多くの方に情報を伝えられる。

質問：福井さん(司会)

旅行会社と組むのは難しいことですか？

回答：小田切氏

難しくはないが、1年先、半年先をみているので3ヶ月後にとか年度内とかのツアーを持っていても遅い場合が多い。

質問：男性(一般)

ツアーのやり方というか動き方。歩くのかバスで添乗員のようにするか・・・。

回答：小田切氏

引きずり回すのはむずかしい。

旅行できた時は歩くのは1時間ほどが限界（よい靴など履いてきている場合がある）

あとは体験・学びや食事。それを含めてつくる。

しかしバスだけなどはこちらの伝えたいことが伝えられない。要はバランス。

質問：男性(一般)

中川氏に質問。今後、大津のまちなかをターゲットにするときにどんなものがありますか？

回答：中川氏

大阪などはイメージがあるが、大津はない。

しかし個人的にはまだコンテンツがないとは思っていない。あれ何っていう建造物もたくさんあるので案内したい。

質問：女性(プロジェクト委員)

県外からお客さんをよぶ中で滋賀県からも行くかたもいると思うが、滋賀県の方を呼ぶ場合どんな内容でツアーをするか。

回答：小田切氏

通勤されてる方もいるし、テレビ、新聞も共有した内容なものであるので難しい。

一概には言えないが、大阪のベタベタな部分をぐっと低くしたツアーに思う。

・滋賀県に観光にきてまず大津って人はまずいない。大津にくる人は滋賀県も事を知っている人が多い。悪いイメージはないのでそれに乗っかってもいいかと。

11月20日

まちなかガイドPJ

「富田林視察」



まちなかガイドプロジェクトで進めている、ツアー事業に向け、重要伝統的建築物保存地区内の歴史的建築物やまちなみを地域の誇りとしてまちづくりをしている富田林のじないまち（宗教自治都市）を視察。当日は、古民家体験プログラムを街道沿いにある蔵にて参加、体験。プログラム終了後、ボランティアガイドの取り組み状況をまちの案内を受けながら確認しました。ボランティアの説明の中では建築物の維持保全には多額の費用が必要で、所有者の負担が限界にあるコメント有り。また、建物の利活用には地域のキーマン(信頼された人物)の動きがあった。



視察日時：平成 26 年 11 月
20 日（木）

出席者：福井美知子、村山
里英、松澤秀夫（報告者）



第2分科会

ガイド・コーディネーター
養成プログラムの
検討会・学習会の実施

次年度実施に向けて
●実施ツアーを題材にして
必要な要素をテーマにした養
成講座の構築 11月～3月

- ①ツーリズムの潮流 **案**
・動向を把握する **7** **5**
洞察力
②地域資源のリサーチ力 **4** **1**
③旅行商品としての企画
プランニング力 **2** **3**
④ブランディング化と
デザイン力 **4** **6**

- 連携団体との調整 2月
①コース組み立てを共同作業
②コース案内人として
③情報提供者として（候補）
・まち遺産魅力発信PJ
・浜大津観光協会
・長柄衆
・いいね！大津

- ガイド実施に向けての心得
学習会開催（母倉氏経由）
①案内人の心得 1月
②ガイドテクニク
③現場での危機管理
④イレギュラーな事態の対応

- ツアー実施時・今後に向けて
参考とするための取組
①先進地の視察 11月実施
②アンケートの実施 2月～3月
※ツアー参加者対象
③ワークショップの開催

まちなかガイドPJ 今後の展開

第1分科会

モニターツアーの計画(案)

キラー コンテンツ	出会う人 コース案内人	ツアータイトル	ターゲット	担当
1		初めての天津百町一まちの案内人と〇〇発見!!	天津の街に 興味を持ち始 めた人	おやじの たまり場
2	大津絵 食べもの 高橋松山 山下満子	ゆるキャラの元祖!? 街道の名物 大津絵を 見て食べる?	大津絵ファン 食に関心がある 女性	福井
3		タイトル未定 着物を着てまち歩き <オプション：着付け体験>	10代から30代 の着物など、和 に興味のある男 女	村山
4		商店街を歩いて出会う「食・技・人」探訪		小倉
5	普段見ら れない寺院拝 観、学芸員に よる解説 横谷賢一郎 青龍寺住職 和菓子店主	学芸員がじっくり解説!! 青龍寺 柴田晩葉筆「雲竜図」襖絵と大津菓子を楽しむ	・美術好きの 女性 ・歴史好きの 高齢者	木津
6	登録文化財 の見学 柴山直子	町家研究家と行く～大津祭と大津町家の真実	建築に興味 のある人	雨森
7 要 検 討	湖岸 大津祭 芭蕉	湖岸、祭、芭蕉（俳句）・・・ 四季を通じて楽しむ		

第3分科会

実施スケジュール
募集方法・広報

- 参加費の算出方法
旅行社の事例など（母倉氏）

●公募の方法

- ①大津広報での告知
1月1日号&2月1日号
②まちづくり大津HPの活用
webでの広報
③チラシなど紙媒体での広報

●問い合わせ・申し込み

- ①webでの申し込み
②経費精算方法
振込、
③チラシなど紙媒体

●スケジュール

- ・11月：募集方法内容の検討
・12月：ツアー内容の確定
広報方法の検討確定
・1月：広報開始・応募の受付
・2月：ツアー実施
・3月：ツアー実施。
商品としてのツアーの可能性
と外部アピール方法討

●その他

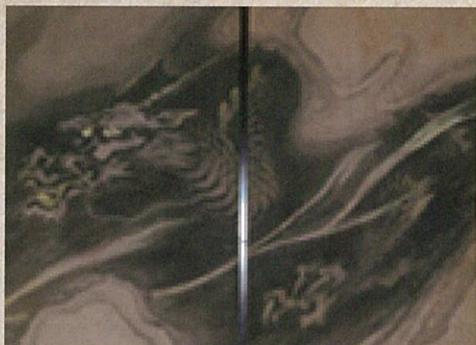
- ①専用HPの構築
②先進地の視察
③まちづくり大津
ボランティアライター
との連携
③大学（学生）との連携 etc.

シリーズ6選

大津まちあるき

事前申し込み制

1 2月22日(日)
青龍寺で大迫力「雲龍図」襖絵
と大津菓子を楽しむ



2 2月28日(土)
大津絵を見る・食べる
大津絵踊りに出会う



3 3月8日(日)
はじめての大津
一まちの案内人と〇〇発見!!



4 3月14日(土)
江戸に帰って大津を歩く



5 3月21日(土)
商店街若店主おすすめ
大津:茶漬け・酒・菓子
まちなか食べ歩き探検コース



「八百與」の
お漬物ご膳

6 3月22日(日)
ドレスコードは日本の民族衣装!
着物で大津の和スポットめぐり

お申込みは裏面へ

■主催 大津市中心市街地活性化協議会
■協賛 備まちづくり大津、大津市、大津市歴史博物館、おやじのたまり場、長柄衆、大津の町家を考える会、大津プリンスホテル、八百与、びわ湖大津観光協会、大津商工会議所

- お申込みはお名前・参加人数・ご住所を明記の上メール、またはこの用紙に必要事項を記入の上 FAX でお願ひします。
- お申込みは実施日の2日前までとさせていただきます。ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- おあずかりした個人情報は本事業でのみ使用し、第三者に提供することはございません。
- 参加費は当日集合場所で徴収します。お釣りのないようご用意ください。
- キャンセルは出発の5日前までにご連絡ください。これ以降お客様の都合でキャンセルされる場合は料金を頂きます。
- 6 着物で大津の和スポットめぐりは雨天中止の場合があります。その他のコースは雨天決行ですが、荒天中止の場合があります。
- 事情により予告なく所用時間及びコースが変更になる場合があります。
- 表示の参加費には、ガイド料と消費税及び団体傷害保険料が含まれております。 **※15分前に集合をお願いします。**

ご希望のツアー番号の□にチェックをして下さい

- 1** 2月22日(日) 14:00-16:00 参加費 1800円(お菓子代込) / 定員 20名 / 青龍寺集合・解散
 青龍寺で大迫力「雲龍図」襖絵と大津菓子を楽しむ
 大津の古刹で学芸員と和菓子店4代目がじっくり語ります
- 2** 2月28日(土) 13:00-15:00 参加費 2100円(お飲物・お菓子代込・お土産付) / 定員 12名 / 京阪浜大津駅改札集合
 大津絵を見る・食べる・大津絵踊りに出会う
 明日都一大津絵の道一大津絵橋一琵琶湖疏水一大津絵の店一長等商店街一大津絵踊り見学一柴屋町一三井寺力餅<解散>
- 3** 3月8日(日) 14:00-16:00 参加費 1500円(お飲み物・お菓子代込) / 定員 20名 / JR大津駅改札集合
 はじめての大津一まちの案内人と〇〇発見!!
 大津宿本陣跡一東海道・札の辻一露国皇太子遭難の碑一大津祭曳山展示館一大津城跡一大津港(コーヒー・紅茶等)<解散>
- 4** 3月14日(土) 14:00-16:00 参加費 2000円(お飲物・お菓子代込) / 定員 12名 / 大津百町館集合
 江戸に帰って大津を歩く
 大津百町館一水野古美術店(天保二年創業)一米会所跡一華階寺のいちょう一餅兵一大津魚忠(お抹茶とお菓子接待)一東海道を歩き一平井商店(万治元年創業)一ギャルリーオー(コーヒー)<解散>
※日本酒の試飲を予定している為、20歳以上の方限定とさせていただきます。またお車でのお越しはご遠慮いただけます。
- 5** 3月21日(土) 11:00-14:00 参加費 2000円(お菓子代・お漬物ご膳代込) / 定員 12名 / 大津百町館集合
 商店街若店主おすすめ 大津：茶漬け・酒・菓子 まちなか食べ歩き探検コース
 丸屋町商店街一平井商店一光風堂(和菓子)一畑中酒店一菱屋町商店街・八百與(お漬物ご膳)一長等商店街・大判焼き一大津絵の店<解散>
- 6** 3月22日(日) 14:00-16:00 参加費 2000円(お茶・お菓子代込) / 定員 10名 / 大津百町館集合
 ドレスコードは日本の民族衣装！ 着物で大津の和スポットめぐり
 大津百町館一餅兵(和菓子)一森野すだれ店一中川誠盛堂(お茶)一ここち夢(町家カフェ)<解散>
 老舗お茶屋さん直伝の家庭で出来るおいしいお茶の入れ方講座付！ ※着物でご参加が必須です。雨天中止の場合があります。



おさんぼ着物のレンタルと着付け 別途 3000円 着付けのみ 別途 2000円
 (アンティークから現代風まで扱う大津市にあるキモノ屋tentoさんに特別にご協力頂いております。)
 ご希望の方は□にチェックをして下さい。当日の集合時間は追ってご連絡いたします。

※お申込み方法とご案内・注意事項にご了解の上お申込み下さい

ふりがな		
お名前	※必須	参加者人数 ※必須
ご連絡先 電話☎	※必須	メールアドレス
FAX		※必須(お持ちでない方は FAX またはご住所をお願いします)
ご住所 〒		
※必須		

今後このような大津のまちなかガイドツアーのイベント情報を上記のご連絡先にご案内してもよろしいですか？

はい いいえ (□にチェックをして下さい)

【お申込み先】(株)まちづくり大津

Mail : guide@machidukuri-otsu.jp

FAX : 077-514-7690

【お問い合わせ先】TEL☎: 077-523-5010(平日9時~17時)